

早期景気観測調査

【8-9月期 調査結果概要報告書】

平成29年10月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成29年9月15日(金)～29日(金)
4. 調査対象： 当所会員141事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 100件
7. 有効回答率： 70.9%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【8－9月期の動き】

**業況は大幅な改善。全業種で業況好転し、
製造業、小売業の改善が目立つ。
向こう3カ月の業況は、改善の見通し。**

8－9月期の全業種総合の業況DIは、▲6.0（前期比+21.0）と大幅な改善となり、過去最高（平成12年度以降）の値となった。売上DI及び採算DIが3期ぶりに改善し、特に売上DIは22.0ポイントの大幅なプラスとなった。仕入単価DIは2期連続の改善。従業員DIも4期連続の改善ではあるが、人手不足が常態化していると言える。金融貸出しDIは改善に転じ、全ての項目において数値が改善した。向こう3カ月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、全業種（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）で業況改善となった。

製造業の業況DIは▲3.7（前期比+30.9ポイント）と3期ぶりに大幅な改善に転じた。売上DIが2期連続で改善し、採算DIが3期ぶりに改善に転じた。また、従業員DI、金融貸出しDIについても改善したが、その一方で唯一仕入単価DIは悪化に転じている。

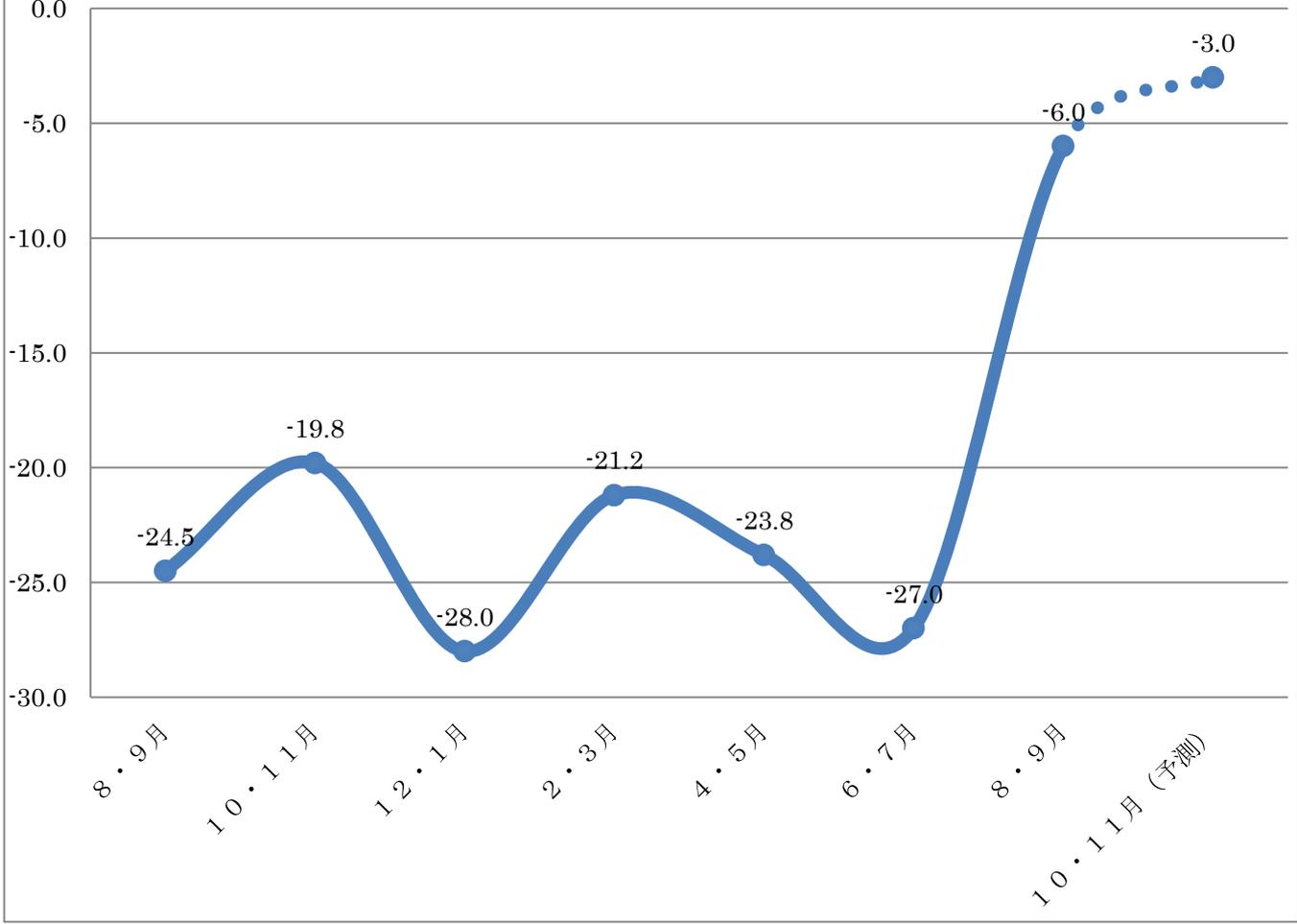
建設業の業況DIは▲31.6（前期比+3.4ポイント）と2期連続の改善となった。売上DIが3期連続の悪化となった一方で、採算DIが2期連続で改善し、仕入単価DIも改善に転じている。従業員DIについては2期連続の悪化、金融貸出しDIは横ばいという結果になった。

卸売業の業況DIは5.9（前期比+17.7ポイント）と改善となった。売上DIは+35.3ポイントの大幅な改善となり、採算DI、仕入単価DI、金融貸出しDIもそれぞれ改善している。唯一従業員DIのみ悪化に転じた。

小売業の業況DIは▲9.1（前期比+31.8ポイント）と4期ぶりに大幅な改善に転じた。金融貸出しDIを除き、売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DIがそれぞれ改善となり、とりわけ売上DIは40.9ポイントの大幅なプラスとなっている。金融貸出しDIは、2期連続の悪化となった。

サービス業の業況DIは13.3（前期比+13.3ポイント）と改善に転じた。売上DIが+26.7ポイント、採算DIが+20.0ポイントとそれぞれ大幅な改善に転じている。従業員DIも2期連続で改善しているが、一方で仕入単価DIについては悪化、金融貸出しDIは横ばいとなっている。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 6. 0	▲ 3. 0	▲ 5. 0	▲ 1 6. 0	▲ 3 0. 0	1 6. 0	0. 0

8－9月期の全業種総合の業況D I は、▲ 6. 0 (前期比 + 2 1. 0) と大幅な改善となり、過去最高 (平成 1 2 年度以降) の値となった。

項目別では、売上D I (▲ 2 7. 0 → ▲ 5. 0) 及び採算D I (▲ 2 7. 0 → ▲ 1 6. 0) が3期ぶりに改善し、特に売上D I は2 2. 0ポイントの大幅なプラスとなった。仕入単価D I (▲ 3 2. 0 → ▲ 3 0. 0) は2期連続の改善。従業員D I (1 5. 0 → 1 6. 0) も4期連続の改善ではあるが、人手不足が常態化していると言える。金融貸出しD I (▲ 3. 0 → 0. 0) は改善に転じ、全ての項目において数値が改善した。

向こう3カ月の先行き業況は、▲ 3. 0と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

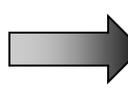
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲3.7	11.1	▲7.4	▲14.8	▲29.6	11.1	▲3.7

業況DIは▲3.7（前期比+30.9ポイント）と3期ぶりに大幅な改善に転じた。

項目別では、売上DI（▲23.1→▲7.4）が2期連続で改善し、採算DI（▲19.2→▲14.8）が3期ぶりに改善に転じた。また、従業員DI（3.8→11.1）、金融貸出しDI（▲11.5→▲3.7）についても改善したが、その一方で唯一仕入単価DI（▲15.4→▲29.6）は悪化に転じている。

向こう3カ月の業況は、11.1と改善する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲31.6	▲10.5	▲36.8	▲36.8	▲21.1	10.5	0.0

業況DIは▲31.6（前期比+3.4ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（▲30.0→▲36.8）が3期連続の悪化となっている。一方で、採算DI（▲45.0→▲36.8）が2期連続で改善し、仕入単価DI（▲30.0→▲21.1）も改善に転じている。従業員DI（15.0→10.5）については2期連続の悪化、金融貸出しDI（0.0）は横ばいという結果になった。

向こう3カ月の業況は▲10.5と大幅に改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
5. 9	0. 0	23. 5	▲11. 8	▲47. 1	41. 2	17. 6

業況DIは5. 9（前期比+17. 7ポイント）と改善となった。

項目別では、売上DI（▲11. 8→23. 5）は+35. 3ポイントの大幅な改善となり、採算DI（▲17. 6→▲11. 8）、仕入単価DI（▲52. 9→▲47. 1）、金融貸出しDI（5. 9→17. 6）もそれぞれ改善している。唯一従業員DI（58. 8→41. 2）のみ悪化に転じた。

向こう3カ月の業況は、0. 0と悪化する見通し。

小売業

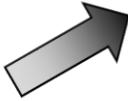
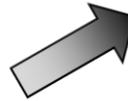
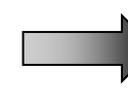
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲9. 1	0. 0	▲18. 2	▲18. 2	▲13. 6	13. 6	▲4. 5

業況DIは▲9. 1（前期比+31. 8ポイント）と4期ぶりに大幅な改善に転じた。

項目別では、金融貸出しDIを除き、売上DI（▲59. 1→▲18. 2）、採算DI（▲36. 4→▲18. 2）、仕入単価DI（▲31. 8→▲13. 6）、従業員DI（4. 5→13. 6）がそれぞれ改善となり、とりわけ売上DIは40. 9ポイントの大幅なプラスとなっている。金融貸出しDI（0. 0→4. 5）は、2期連続の悪化となった。

向こう3カ月の業況は、0. 0と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
13.3	▲26.7	26.7	6.7	▲46.7	6.7	▲6.7

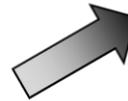
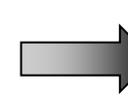
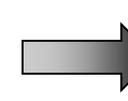
業況DIは13.3（前期比+13.3ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上DI（0.0→26.7）が+26.7ポイント、採算DI（▲13.3→6.7）が+20.0ポイントとそれぞれ大幅な改善に転じている。従業員DI（0.0→6.7）も2期連続で改善しているが、一方で仕入単価DI（▲40.0→▲46.7）については悪化、金融貸出しDI（▲6.7）は横ばいとなっている。

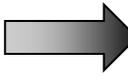
向こう3カ月の業況は、▲26.7と大幅に悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

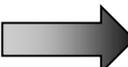
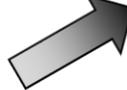
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

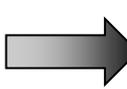
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

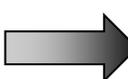
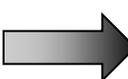
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

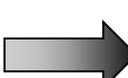
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・昨年より約1年半続いた大麦需要も一段落し、ここからは自社の力で需要拡大・販路拡大していく必要がある。8月の冷夏の影響で夏もの（麦茶、乾麺）は軒並み昨年割れ。
- ・昨年よりも夏休み中の集客が増加したことにより、売上高も増加しました。しかし、個人客は減少しており、これからの観光シーズンでの来客を期待します。果実酒の金賞を受賞したことにより、清酒と同じく販売に力が入ります。
- ・おせち関連大口顧客の納期前倒しの増加で、業況は好転。年内の大口受注確定は10月初旬を見込んでいるが、前倒し群差し引いても昨年に近い売り上げ確保の見込み。ここにきて円安による輸入原料価格と発送配達費上昇が不安材料。

製造業（工業製品）

- ・水晶業界の8月の実績は、生産・受注とも全体として増加。特に産業用水晶振動子はリファレンス用、産業用水晶発振器はリファレンス用以外（GPS等）が大きく需要増加。自動車用水晶振動子も堅調。当社においては、米国の新スマホ機種向けに受注が増加しています。

【建設業】

建設業（建築）

- ・公共工事の減少により、民間投資も少ない。
- ・山梨県内においては需要弱く、競争激しい。首都圏からのオファーは堅調。
- ・公共事業の前倒し発注が前年度（H28年度）は上半期80%執行であったが、本年度は特に目標設定をしていないのか、発注が遅い。また、衆議院解散があるのか。補正予算編成が無いようで、通年予算だけの公共工事だと年度下期や30年度前半の繰り入れ工事量が激減し、大変厳しい業況になりそう。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・世界の食生活の変化と地球温暖化による海洋資源の変化・不足と、水産業界を取り巻く状況は良くありません。仕入値の上昇とスーパー等の安売りによる売値の下落など先行きは不安です。

卸売業（その他）

- ・文具の卸売だが、先行きは不透明である。

【小売業】

小売業（趣味・日用品）

- 物が動きません（商品が売れません）。物販業はネット通販等の影響もあり、どこも苦戦しているようです。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- 8月は天候にも恵まれて、個人客が例年より多く来ていただきました。
- 8月9月両月とも天候に左右され、予約もキャンセルが多かった。また、例年のような南アルプス登山者も大変少なかったです。ここ2、3年で最悪の月でした。他の観光客、仕事の来客も少なかったです。

サービス業（観光）

- 前年に比べ9月の天気が良かったため業況好転。
- 北朝鮮問題による学校団体の海外渡航自粛。

サービス業（飲食その他）

- ようやく朝夕忙しくなってきました。暑く、食欲がなく、栄養のある鰻を食べようという客も少なくなってきました。秋は、魚、野菜、果物… 美味しいものがたくさん出回ります。

以上